

# IV-7 九州

九州一体で観光に取り組む環境が整備  
 条例に基づく観光振興計画を策定、事業を推進  
 大分県で美術館、駅ビルの開業、DCの実施

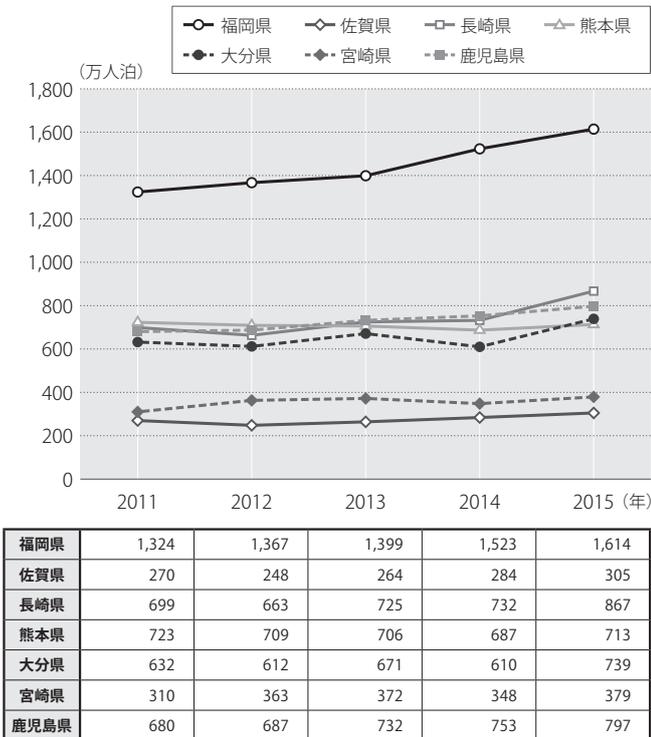
※2016年に発生した熊本地震に関する内容は、次年度の「旅行年報2017」で扱うこととする。

## (1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計」によると15年1月～12月の九州各県の延べ宿泊者数について、九州全体では5,415万人泊となり、対前年比9.7%増となった(図IV-7-1)。

九州では全県で延べ宿泊者数は増加しており、福岡県(前年比6.0%増)、佐賀県(同7.5%増)、長崎県(同18.6%増)、熊本県(同3.8%増)、大分県(同21.1%増)、宮崎県(同8.9%増)、鹿児島県(同5.8%増)となった。そのうち、大分県、長崎県は、対前年比が15.0%以上の伸びを示した。

図IV-7-1 延べ宿泊者数の推移(九州)

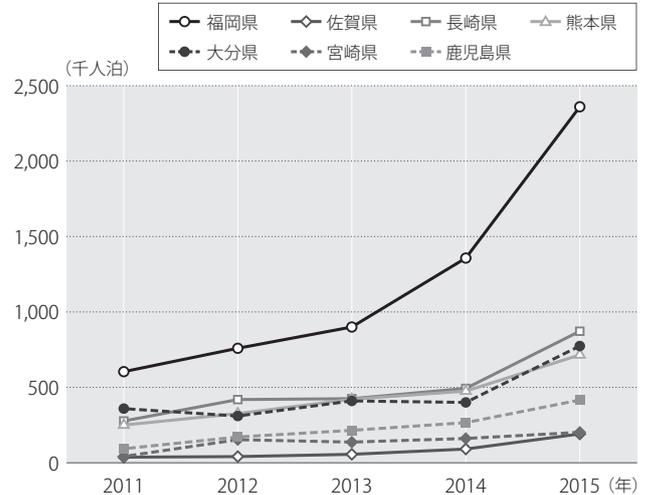


単位：万人泊  
 資料：平成27年宿泊旅行統計調査(観光庁)

外国人延べ宿泊者数については、九州全体では553万人泊となり、前年比70.5%増と増加傾向にある(図IV-7-2)。

延べ宿泊者数と同様、外国人延べ宿泊者数は九州全県で増加しており、福岡県(前年比73.9%増)、佐賀県(同110.2%増)、長崎県(同77.1%増)、熊本県(同50.3%増)、大分県(同

図IV-7-2 外国人延べ宿泊者数の推移(九州)



県	2011	2012	2013	2014	2015
福岡県	604	759	900	1,357	2,360
佐賀県	37	41	56	91	191
長崎県	277	419	425	493	872
熊本県	250	326	421	475	715
大分県	359	310	410	400	774
宮崎県	42	153	137	161	202
鹿児島県	93	171	215	266	416

単位：千人泊  
 資料：平成27年宿泊旅行統計調査(観光庁)

93.3%増)、宮崎県(同25.4%増)、鹿児島県(同56.3%増)となった。宮崎県を除く6県で対前年比50.0%以上の伸びを示した。

## (2) 観光地の主要な動き

### ① 地方・都道府県レベル

#### ●「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産登録

2015年7月にドイツのボンで開催された第39回世界遺産委員会において、日本政府より推薦していた「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」がUNESCOの世界遺産リストに記載されることが決定した。これは、1850年代から1910年にかけて、我が国における製鉄・製鋼、造船、石炭産業といった重工業の産業化に中心的役割を担った遺産群として、高く評価されたことによる。構成資産は、九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県)・山口県を中心に、静岡県や岩手県を含む、8県11市にわたる23件の建造物や遺跡に及ぶ。

#### ●温泉アイランド九州 広域観光周遊ルート(九州)

九州観光推進機構が九州各県および政令市他、会員の代表者との協議を経て国に申請した「温泉アイランド九州 広域周遊ルート」形成計画が15年6月12日に国土交通大臣により認定された(表IV-7-1)。

全国一の温泉源泉数と湧出量を誇る温泉をコンセプトの中心に置き、歴史文化・自然・食を活用したルートの形成を通じて、韓国、中華圏、欧州のFIT旅行者の拡大、福岡から西九州、東九州への呼び込みを目指すこととしている。

表IV-7-1 「温泉アイランド九州 広域周遊ルート」形成計画の概要

項目	内容
名称・コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉アイランド九州 広域観光周遊ルート (Relax &amp; Rejoice) Extensive sightseeing route of 'Onsen Island' Kyushu ~Relax &amp; Rejoice~</li> <li>全国一の温泉源泉数と湧出量を誇る温泉、その温泉を育むダイナミックな自然、古くから海外との窓口だった歴史が育んだ豊かな食文化、世界文化遺産をはじめとする歴史・文化資源など、九州7県の多様な魅力を楽しむ広域観光周遊ルート。</li> <li>個人旅行者 (FIT) を主なターゲットと位置づけ、韓国、台湾、中国等のアジアからの旅行者に加え、今後増加が見込まれる欧州を対象市場とする。</li> </ul>
目標設定・成果指標	<p>【目標①】九州7県の訪日外国人数 (2018年: 288.4万人) ※法務省「出入国管理統計」における九州空港の入国外国人数の合計</p> <p>【目標②】九州の延べ宿泊者数に占める全国シェアの拡大 (2018年: 10%) ※観光庁「宿泊旅行統計」における外国人延べ宿泊者数を基に算出</p>
主な事業の概要	<p>(1) 事業計画策定・マーケティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州の多様性を活かし、「九州ブランド」および「国別イメージ戦略」を策定し、各海外市場に対して九州一体で情報を発信</li> </ul> <p>(2) 受入環境整備・交通アクセスの円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FIT向け広域二次交通の強化 (公共交通機関、観光列車、レンタカー等)</li> </ul> <p>(3) 滞在コンテンツの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>着地型商品の造成販売促進による新旅行マーケットの創出</li> </ul> <p>(4) 対象市場に向けた情報発信・プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上海のMOU締結旅行社との連携事業や、新規市場として東南アジアにおけるプロモーションの強化</li> </ul>

資料: (一社)九州観光推進機構発表資料をもとに(公財)日本交通公社作成

さらに、計画を踏まえ、その具現化を目指して外国人に訴求するためのコンセプトを設定。これに即した具体的な観光周遊のためのモデルコースとして、九州観光推進機構は3つのコースを策定した(表IV-7-2)。

表IV-7-2 「温泉アイランド九州 広域周遊ルート」の3つのモデルコース

名称	モデルコースの内容
①九州の魅力を満喫コース	<p>【コンセプト】九州の豊富な自然風景を中心に、公共交通機関による移動を前提として九州全域を回るモデルコース。温泉については単に入浴するだけでなく、温泉街独特の日本文化(旅館、浴衣)を紹介することにより、日本文化を体験したいという外国人観光客に訴求する。また、中国人、台湾人、タイ人観光客に関心の高い、買い物や食を楽しめる観光素材を含むことにより、九州各地の持つそれぞれの特徴を活かしながら、魅力を十分に引き出し、かつ旅行の満足度を高める行程となっている。</p>
②九州の歴史・自然をレンタカーで回るコース	<p>九州各地に点在する多様な温泉や食を楽しみながら、彩り豊かな自然風景や、城、武家屋敷といった歴史資源などを各地のレンタカーで回るモデルコース。1~2週間程度と比較的長期の滞在が一般的であり、レンタカーでの移動に抵抗感の少ないシンガポール市場、これに比べ滞在期間は短いものの、レンタカー利用が多い香港、韓国市場を対象とし、九州を一周する高速道路網(九州道・東九州道・長崎道等)を利用し快適に九州全域の魅力を満喫することができる。</p>
③九州一周の島コース	<p>欧州ではなかなか目にする事のできない火山が九州には多く存在するという特徴を踏まえ、九州各地に点在する火山を回るとともに、その恩恵による豊富な温泉資源及び周辺の温泉街の持つ日本文化に触れることのできるモデルコース。また、欧州からの訪日客にとって魅力的な自然風景も取り入れ、公共交通機関で移動することにより、季節によって様々な表情を持つ九州の自然を十分に味わうことができる。</p>

資料: 観光庁公式ホームページ掲載資料をもとに(公財)日本交通公社作成

### ●福岡よかもん市場・福岡よかとこ旅行券事業(福岡県)

福岡県は、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用して、「福岡よかもん市場・福岡よかとこ旅行券事業」を実施。15年6月26日から、ふるさと名物商品をインターネット通販サイト「福岡よかもん市場」で、「福岡よかとこ旅行券」(5,000円券、1,000円券)を全国コンビニエンスストアで販売した。旅行券は6月に完売。9月29日から第2期販売が行われたが、2週間で完売となった。発行額は第1期は3億円、第2期は6億円であった。

### ●佐賀県回遊体験ストーリー「SAGA MONOGATARI」(佐賀県)

佐賀県は、その認知度を高め誘客につなげようと、16年2月、各国・地域あるいは年代などの特性に応じたプロモーション、『SAGAMONOGATARI』という情報発信事業を展開した。これは従来の観光PRでは動かない若者層(20代、30代)を中心としたLINEユーザーが佐賀県を訪れることを想定したもの。スマートフォンアプリ「LINE」上のサービス「LINE BC(LINE BUSINESS CONNECT)」という新たなツールも使用。佐賀を訪れる「きっかけ」を多く作っていくことを目指し、佐賀県の観光資源や魅力を積極的に情報発信するとともに、全国に注目される取り組みを行い、常に新鮮な情報(話題)を提供した。

### ●長崎県観光振興基本計画の策定(長崎県)

長崎県では、06年10月に制定した「長崎県観光振興条例」に基づき「長崎県観光振興基本計画」の策定を行っている。11年度から15年度の5年間を期間とする計画が終了することを受けて、16年度から20年度を計画期間とする次期「長崎県観光振興基本計画」の策定を行った。

長崎県観光の将来像として「世界が認める観光県ながさき~ながさき観光の魅力・満足・価値の向上~」を設定し、観光振興の方向性として、「1.観光産業の活性化・高度化」「2.地域と一体となった観光まちづくりの推進とそれを担う人材の育成」「3.交通基盤の整備と広域連携の推進」「4.2つの世界遺産(候補)を中心とする歴史文化等を活用した誘客拡大」「5.海外交流の歴史等を活かした外国人観光客の誘客拡大」を掲げている。

### ●アンテナショップ長崎館オープン(長崎県)

長崎県は、16年3月7日にアンテナショップ「日本橋 長崎館」を東京都中央区日本橋に開業した。江戸時代、長崎出島のオランダ商館長や長崎で西洋医学を伝えたドイツ人医師シーボルトなどが江戸参府する際、日本橋の「長崎屋」という葉種問屋を定宿にしていたという歴史等も踏まえて当地が選定された。

「首都圏と地元の人・物・情報の交流を活性化することで“地域を元気にする”」を基本コンセプトに、定番商品や有名観光地だけではなく長崎の魅力発信する新たな拠点として設置。店内は「物販ゾーン」「軽飲食ゾーン」「観光案内ゾーン」「イベントゾーン」の4つのゾーンで構成され、「食と暮らしの案内人」や「旅の案内人」による案内も受けられる。

### ●東九州自動車道(大分~宮崎)開通(大分県・宮崎県)

豊前IC~宇佐IC間が15年3月1日に、佐伯IC~蒲江IC間が

15年3月21日に開通。これにより北九州～大分～宮崎がほぼ結ばれ、九州を一周できるネットワークが形成された。

#### ●おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン（大分県）

大分県では15年7月1日から9月30日までの3か月間、JRグループと県、地元自治体、観光事業者が連携して「おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン」（以下、DC）を実施し、誘客促進に取り組んだ。「おんせん県おおいた観光レポート2016」（16年1月28日、日本銀行大分支店）によると、大分県の観光は、開催期間中、大きな盛り上がりを見せ、その好調の背景を、大分県特有の要因と全国的な要因の2つで整理している。

前者としては、①DC期間中の官民一体となった各種誘客イベント等の奏功、②JR大分駅ビル・県立美術館の新規開業等による話題性の向上、③東九州自動車道県内全線開通を背景とした自動車を利用した観光客の増加（ガソリン価格の低下も押し上げに寄与）が、後者としては、①9月連休の日並びの良さや休日の好天、②海外情勢不安等を背景とした海外旅行から国内旅行へのシフト、③円安等を背景としたアジアからのインバウンドの増加が挙げられている。

#### ●大分県立美術館OPAMの開業（大分県）

「大分県立美術館OPAM（オーバム）」が、15年4月24日にJR大分駅から徒歩約10分の場所に開業した。「五感で楽しむことができる」美術館／「自分の家のリビング」と思える美術館／「県民とともに成長する」美術館の3つのコンセプトのもと、建物の設計は建築家の坂茂氏が行い、美術館の館長は新見隆氏が務める。開業204日目の11月13日（金）には、年間来場者数の目標である50万人を迎えた。

国内の県立美術館としては、06年開館の青森県立美術館以来、9年ぶりに新設される美術館となった。

#### ●神話のふるさと宮崎観光おもてなし推進条例の制定、

##### 宮崎県観光振興計画の策定（宮崎県）

宮崎県は、観光の再興を県の重要な課題と位置づけ、県だけでなく観光に携わるさまざまな機関が連携し観光振興に取り組むために、「神話のふるさと宮崎観光おもてなし推進条例」を制定（15年4月1日施行）。第10条第1項の規定で観光振興に関する計画を定めることとしており、「宮崎県観光・リゾート振興計画」（05年度～14年度）の後継計画として、「宮崎県観光振興計画」（15年度～18年度）を策定した。同県の観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、施策の基本的方向として、「1. 何度も訪れたくなる・泊まりたくなる観光地づくり」「2. 「スポーツランドみやざき」の推進」「3. 訪日外国人の誘客促進」「4. 『みやざきMICE』の確立」「5. 効果的なPRと情報発信」を掲げている。

#### ●「選ばれる観光地熊本」観光キャンペーンの実施（熊本県）

熊本県では、「ようこそくまもと観光立県条例」（08年12月制定）に基づく「新・ようこそくまもと観光立県推進計画」（計画期間：12年度～15年度）で描く方向性に沿って、「選ばれる熊本～九州観光の拠点を目指して」を基本目標に、「選ばれる観光地熊本」観光キャンペーンを展開。誘客促進に向けて、「1. リメンバー九州キャンペーンの展開」「2. くまもとファミキャン（仮

称）の展開」「3. 熊本キャンペーン（仮称）の展開」「4. くまもと・ふろモーションの展開」「5. 旅行券の発行」「6. 広報宣伝活動」を実施した。

#### ●鹿児島県観光振興基本方針の策定（鹿児島県）

鹿児島県では、「観光立県かごしま県民条例」（09年4月1日施行）に基づく基本方針として、15年度から19年度までを推進期間とする新たな「鹿児島県観光振興基本方針」（15年3月）を策定した。

10年後の観光かごしまの姿として「おもてなしの心と本物の素材で形成する、世界を魅了する観光地“KAGOSHIMA”」を掲げ、5年後の数値目標として、延べ宿泊者数、うち外国人延べ宿泊者数、満足度、観光消費額の目標を設定している。また、「観光立県かごしま」の実現に向けた取組指針として、「1. 地域をデザインする」「2. 地域を発信する」「3. 地域をつなぐ」「4. 地域でもてなす」「5. 地域の環境を守る」の5つを掲げている。

#### ②広域・市町村・地区レベル

##### ●福岡パルコ本館増床部オープン（福岡県福岡市）

福岡パルコは、15年3月19日に本館増床部をグランドオープンさせた。本館は、交通拠点の立地を活かし「新しい喜びある消費」を提案する“天神のコンフォータブルストア”として10年3月にオープン。そのオープンから5年が経過し、さらに進化する福岡パルコとして、「都市の生活の楽しみ方、過ごし方を求める多くの人々に対し、自分らしいライフスタイルを発見できる場として、常に“新しい刺激”を提案し続ける」という考えのもと、隣接するソラリアステージビルの一部に出店を行った。従来の福岡パルコ店舗計約38,000㎡に加えて、本館増床部賃貸面積4,200㎡をオープン。天神エリア最大級のショッピングセンターとなるという。

##### ●KITTE博多開業（福岡県福岡市）

日本郵政グループの日本郵便は、16年4月21日にJR博多駅前にある博多郵便局跡に商業ビル「KITTE（キッテ）博多」を開業した。「切手」と「来て」の2つの意味を有するもので、地下3階、地上11階建て、延べ床面積約64,000㎡の施設である。JR博多駅、地下鉄博多駅とは、歩行者デッキや地下通路で連絡されている。

##### ●株式会社有田まちづくり公社への出資

###### 一 佐賀観光活性化ファンド（佐賀県有田町）

株式会社地域経済活性化支援機構（以下、機構）によると、「佐賀観光活性化ファンド」（機構のファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社と株式会社佐賀キャピタル&コンサルティングとが共同で運営）は、15年10月16日付で株式会社有田まちづくり公社の第三者割当増資を引き受けた。

有田町は、観光活性化のコンセプトを「400年の歴史ある伝統的な町並みの中で 有田焼や魅力的なアートに接し、有田焼と食との豊かなコラボレーションをゆっくりと体感できる町。～有田町～」としており、「有田焼そのものだけでなく、有田焼を取り巻く多様な側面＝伝統・アート・食（器）をソフトとして、町の中のハード（伝統的建築物等）に織り込み体現する場を創造し、有田町の観光活性化を図る」ことを目指しているという。推

進役となる有田まちづくり公社は、15年4月1日に設立された会社で、イベント事業、直営、サブリース事業、企画・プランニング、陶磁器流通事業を主な事業内容としている。

#### ●JRおおいたシティ開業（大分県大分市）

15年4月16日に、大分駅ビルの他、すでに開業している豊後にわさき市場、大分駅南立体駐車場、大分駅西駐車場も含めた「JRおおいたシティ」が開業。「心ゆたかなライフスタイルを創造・提案し大分都心部の賑わいづくり 魅力的なまちづくりに貢献する」を理念として掲げている。

「JRおおいたシティ」は、アミュプラザおおいた（商業施設）、JR九州ホテルプラッサム大分、屋上庭園、温浴施設、駐車場で構成されている。初年度の年間来客目標数として設定された1,100万人は9月に達成された。

#### ●由布市ツーリストインフォメーションセンター（TIC）の新規建設（大分県由布市）

由布市では、17年春に「由布市ツーリストインフォメーションセンター（TIC）」をJR由布院駅に隣接して設置する予定である。設計者は建築家の坂茂氏。外国人観光客を含む同市を訪れる旅行者の観光行動を意識して、由布市に限らず広域、九州全域の観光情報を発信することを目指している。

#### ●ハウステンボス「変なホテル」開業（長崎県佐世保市）

ハウステンボスは、15年7月17日にロボットが接客を行う「変なホテル～変わり続けることを約束するホテル～」を開業した（72室）。先進技術を導入し、ワクワクと心地よさを追求した世界初のロボットホテルで、この「変」には「変化しつづける」という意思が込められている。環境に配慮した建築や設備であると同時に、リーズナブルでありながら快適で、さらに訪れる楽しみのような仕掛けもつくりたいという思いで作られた。第2期建設も行われ、16年3月14日に開業を迎えた（72室）。

#### ●JRKYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」

（大分県大分市～日田市）（長崎県佐世保市～長崎市）

JRKYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」は、九州旅客鉄道が運行する観光列車で、車内で特別なスイーツコースを楽しみながら贅沢な時間を過ごすための列車である。

「或る列車」の「或る」の英表記「ARU」には、「A: AMAZING-「素晴らしい」九州の魅力（食材等）を広く発信。」「R: ROYAL-「豪華な」デザイン、「素晴らしい」スイーツコースをお楽しみください。」「U: UNIVERSAL-「世界中の」方々をお待ちしております。「皆さま」に愛される列車を目指します。」という思いが込められている。大分地区では15年8月8日から、長崎地区では11月1日より運行が開始された。

#### ●竹田温泉群、国民保養温泉地に指定

（長湯温泉の拡大指定）（大分県竹田市）

竹田市の竹田温泉群が、15年5月、環境庁から国民保養温泉地の再指定を受けた。

竹田温泉群とは、合併して竹田市となる以前の旧1市3町（旧竹田市、荻町、久住町、直入町）にある温泉、すなわち長湯温泉、久住高原温泉郷、竹田・荻温泉の総称である。“再”指定は、1978年に長湯温泉が国民保養温泉としての指定を受けて

いることによる。竹田市では、この市内全域にまたがる温泉資源を活用し、現代版の湯治ができる温泉療養地としてさらなる地域活性化を目指している。

#### ●明治維新150年カウントダウン事業（鹿児島県鹿児島市）

18年に明治維新から150周年という節目を迎えるにあたり、鹿児島市では、12年から18年までの期間を「明治維新150年カウントダウン事業」として、明治維新までの激動の時代を歩んできた薩摩藩の足跡を振り返るイベントを実施。

15年度は、広域観光プロジェクト「平成の薩長土肥連合」として、薩摩（鹿児島県）、長州（山口県）、土佐（高知県）、肥前（佐賀県）と観光事業で連携していくことを、4県の知事が東京にて宣言（8月31日）。スタンプラリー等を実施する。4県が共同で作成したポスターは、公益社団法人日本観光振興協会が実施する第64回日本観光ポスターコンクールにて審査員特別賞を受賞した。

#### ●三島村・鬼界カルデラ、日本ジオパークに認定（鹿児島県三島村）

15年4月に三島村の三島村・鬼界カルデラジオパークが日本ジオパークに認定された。縄文時代の7,300年前に起きた破局噴火とその後の火山活動が作った地形・地質などの自然と、そこに暮らす人との関わりが見られるのが特徴である。鹿児島県内では、すでに2件が認定されており（「霧島ジオパーク」「桜島・錦江湾ジオパーク」）、3件目の認定となった。

#### ●「日本遺産」として九州関連で6件が認定

「日本遺産（Japan Heritage）」は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形のさまざまな文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的とするものである。

15年度、16年度の2カ年で37件が認定されており、そのうち九州関連の「日本遺産」は6件である（表IV-7-3）。

（後藤健太郎）

表IV-7-3 認定された九州の「日本遺産」

認定日	ストーリーのタイトル
2015年 4月24日	近世日本の教育遺産群 - 学ぶ心・礼節の本源-（水戸市（茨城県）・足利市（栃木県）・備前市（岡山県）・日田市（大分県））
	古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～（太宰府市）
	国境の島 吉岐・対馬 ～古代からの架け橋～（長崎県（対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町））
2016年 4月25日	相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～（熊本県人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村）
	鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～（呉市（広島県）・横須賀市（神奈川県）・佐世保市（長崎県）・舞鶴市（京都府））
	日本磁器のふるさと 肥前～百花繚乱のやきもの散歩～（佐賀県（唐津市、伊万里市、武雄市、嬉野市、有田町）・長崎県（佐世保市、平戸市、波佐見町））

資料：文化庁公式ホームページをもとに（公財）日本交通公社作成